NEC

N8151-26
内蔵 DAT 取扱説明書

ご注意

- 製品をご使用前になる前に必ず本書をお読みください。
- 本書は、熟読の上、大切に保管してください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、製品を安全にお使いいただき、お客様の危害や財産への損害を未然に防止するために、次の表示を使用しています。

■　表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生ずる危害や損害の程度を説明しています。

	警告	**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。**
	注意	**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容または物的損害のみの発生が想定される内容です。**

■　お守りいただく内容を説明しています。

	気をつけていただきたい「注意」内容です。
	してはいけない「禁止」内容です。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

安全上のご注意　必ずお守りください

警告

■ 本装置の分解や改造は絶対にしないでください。
（本体カバーを外すなど）
火災や感電の恐れがあります。

■ 本装置の上や近くに液体等を置いたり、内部に金属類や異物を入れないでください。
もし、万が一異物等が混入してしまった場合には、回路部分のショートや感電を防止するためにも、すみやかにサーバの電源を切り、本装置のDC電源ケーブルを抜いてください。

■ 本装置が万が一破損した場合、もしくは異音や異臭が生じた場合には、回路部分のショートや感電を防止するためにも、すみやかにサーバの電源を切り、本装置のDC電源ケーブルを抜いてください。

■ 雷が鳴り出したら感電の恐れがありますので、電源プラグに触れないでください。

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠ 注意

■ 本装置を不安定な場所に設置しないでください。
落ちたり、倒れたりして思わぬけがの原因となります。

■ 直射日光のあたる場所や、異常に温度が高くなる場所に設置しないでください。

■ 通風口をふさがないでください。

■ 湿気やほこりの多いところに設置しないでください。

■ サーバや周辺機器の接続/取り外しをする場合には、必ず大もとの電源コードをACコンセンから抜いてください。
電源ケーブルがACコンセントに接続されたまま、接続/取り外しをすると、感電の恐れがあります。

■ 濡れた手でDC電源ケーブルを抜き差ししないでください。
感電の恐れがあります。

■ DC電源ケーブルを接続する際は、火災や感電を防止するためにもきちんと奥まで挿入してください。

■ DC電源ケーブルをの接続や配線は、本マニュアル15ページの接続方法に従って正確に行ってください。

■ 装置の近くで携帯電話やPHS、ポケットベルを使用しないで下さい。
誤動作の原因となる場合があります。

目次

本書を読まれるにあたって

本書はSDT-11000内蔵DATの取扱説明書です。サーバ本体の操作説明についてはサーバのマニュアルをご覧ください。

ご注意

SDT-11000には当社製4mmデータカートリッジ（EF-2422（150m）、EF-2417（125m）、EF-2409（120m）、EF-2407（90m））をご使用ください。
ただし、EF-2407（90m）につきましては読み取り（READ）のみ保証します。
当社製以外の4mmデータカートリッジを使用するとリード／ライトエラーの原因となる場合があります。

梱包箱の中身

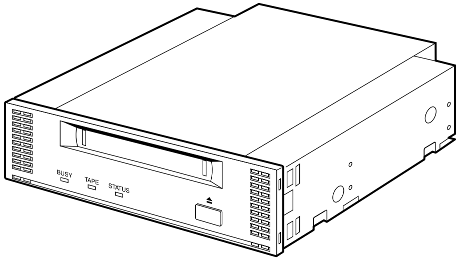
梱包材

本装置を輸送するときは、本装置の梱包に使用されている当社製の梱包材を入れていただくようお願い致します。

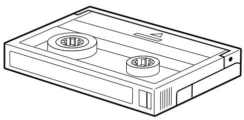
開梱

梱包箱を開けて、必要な付属品が揃っていることをご確認ください。

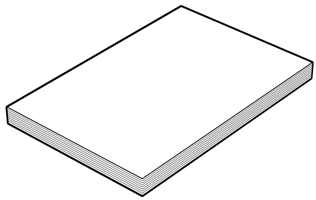
SDT-11000　内蔵DAT



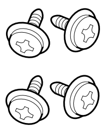
クリーニングカートリッジ



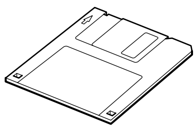
取扱説明書（本書）



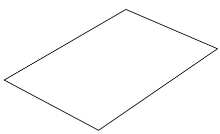
取り付けネジM3（4本）



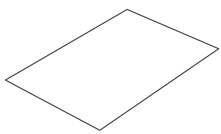
フロッピーディスク
（Windows NT Ver4.0 Driver for SDT-11000）



保証書



DAT装置 取り扱いについて

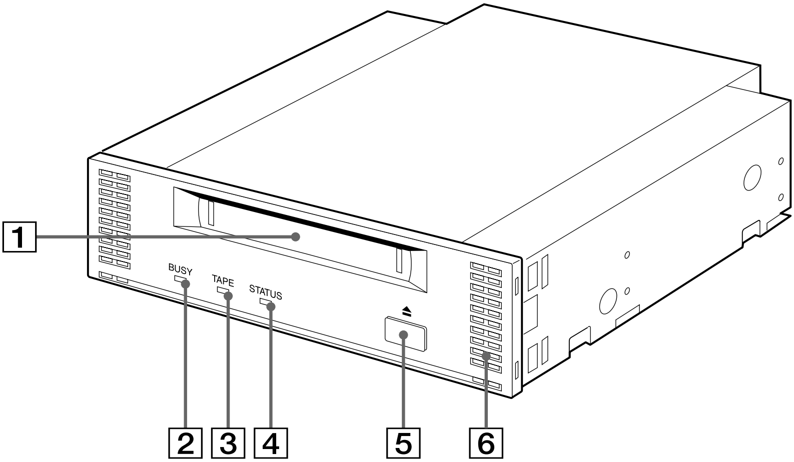


- **SDT-11000内蔵DAT装置を譲渡する場合は、取扱説明書も一緒に譲渡すること。**
- **本装置およびカートリッジの廃棄については、各自治体のルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。**

ハードウェア編

各部の名称と働き及び設定方法（SCSI ID等）

■ 前面



1 **4mmデータカートリッジ挿入口**

4mm データカートリッジを入れます。カートリッジの入れかた、出しかたについては「4mmデータカートリッジの挿入」および「4mmデータカートリッジの抜き取り」をご覧ください。

2 **BUSYインジケータ**

SCSIインターフェースを通してデータのやり取りが行われているときに点灯します。

また、挿入されている4mmデータカートリッジのデータが正常に読み取り書き込みが行われているときは等間隔に点滅します。

このランプが点灯している間に電源のON/OFFを行うとリードエラーが発生したり、異なったデータを書き込んだり、4mmデータカートリッジに致命的な傷をつける恐れがありますので、絶対に行わないでください。

3 TAPEインジケータ

4mmデータカートリッジが収納されている間、点灯します。また、以下のようなときには点滅します。

カートリッジの出し入れを行っているとき	等間隔に点滅します。
カートリッジが劣化してきたとき	長い点灯と短い消灯を繰り返します。

4 STATUSインジケータ

挿入されている4mmデータカートリッジが書き込み禁止状態になっているときに点灯します。また、以下のようなときには点滅します。

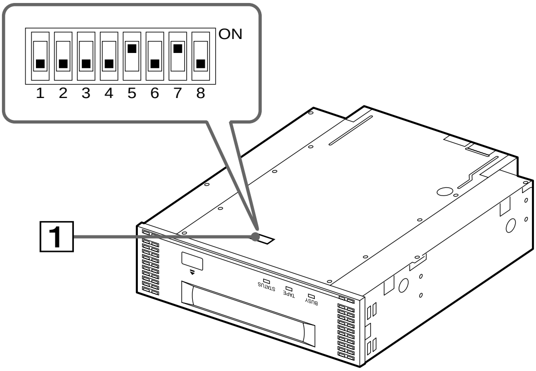
クリーニングが必要なとき	長い点灯と短い消灯を繰り返します。
クリーニング中、テープが最後まできたとき	等間隔に点滅します。
ドライブが故障しているとき	短い点灯（2回）と長い消灯を繰り返します。

5 EJECTボタン

データカートリッジを本装置から取り出すときに押します。

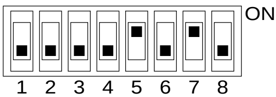
6 通風口

■ 底面



1 DIPスイッチ

- **ターミネータ電源供給（Terminator Power）（工場出荷時の設定は「ON」）［スイッチ5］**
- **データ圧縮設定（1）（DC Control）（工場出荷時の設定は「ON」）［スイッチ7］**
- **データ圧縮設定（2）（DC Control）（工場出荷時の設定は「OFF」）［スイッチ8］**

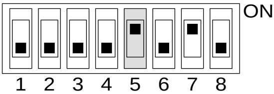


スイッチ1〜4：未使用
スイッチ5：Terminator Power
スイッチ6：未使用
スイッチ7：DC Control（1）
スイッチ8：DC Control（2）

ご注意

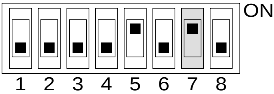
工場出荷時設定のままで使用してください。

ターミネータ電源供給の設定　～Terminator Power～



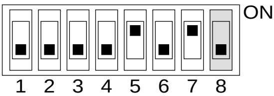
ターミネータ電源をSCSIバスに供給するか供給しないかを設定します。
設定はスイッチ5を使います。「ON（工場出荷時の設定）」でターミネータ電源を供給する設定に、「OFF」で供給しない設定になります。

データ圧縮の設定　～DC Control（1）～



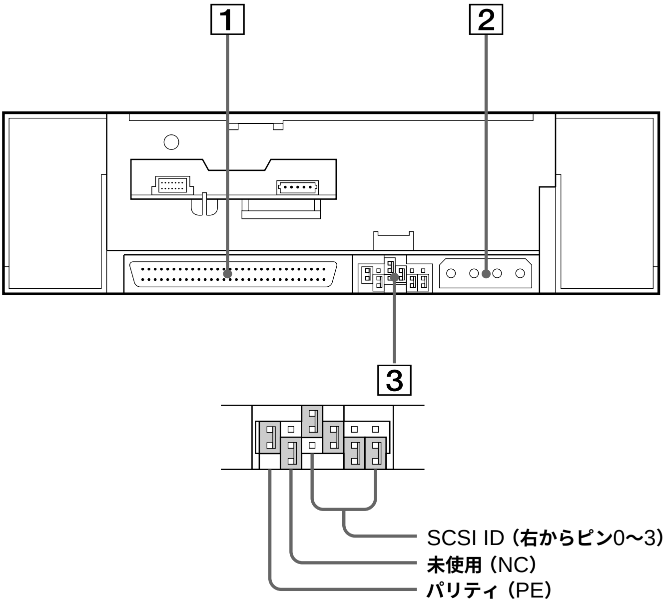
本装置が持つデータ圧縮機能を有効にするか無効にするかを設定します。
設定はスイッチ7を使います。「ON（工場出荷時の設定）」でデータ圧縮機能を有効にする設定に、「OFF」でデータ圧縮機能を無効にする設定になります。

データ圧縮の設定　～DC Control（2）～

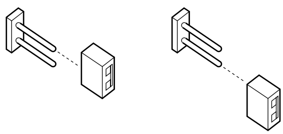


バックアップアプリケーションからデータ圧縮の制御を有効にするか無効にするかを設定します。
設定はスイッチ8を使います。「ON」でバックアップアプリケーションからデータ圧縮の制御を無効にする設定に、「OFF（工場出荷時の設定）」でバックアップアプリケーションからデータ圧縮の制御を有効にする設定になります。

■ 背面



ご注意



「ストラップなし」にする場合は、片方のピンにストラップを取り付けておくか、大切に保管しておいてください。

ここでの「ストラップあり」とは、2つのピンにストラップを取り付けた状態をさします。また、「ストラップなし」はストラップをピンに取り付けていないか、2つのピンのうち、どちらか一方のピンにのみ取り付けられている状態をさします。

1 信号コネクタ

SDT-11000内蔵DATを制御するためのSCSI信号コネクタです。

2 DCコネクタ（＋5V/＋12V）

SDT-11000内蔵DATに電源を供給するためのコネクタで、サーバ内の電源ケーブルを差し込みます。

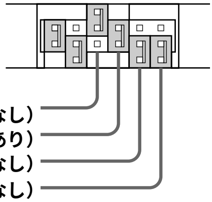
3 **オプションジャンパ**

本装置の背面にあるジャンパピンでは次の設定を行うことができます。

- **SCSI ID（工場出荷時の設定は「ID4」）**
- **パリティ機能（工場出荷時の設定は「有効」）**

SCSI IDの設定

本装置が使用するSCSI IDを設定します。設定は背面にあるジャンパピンの「ピン0」～「ピン3」の4本のピンを使います。



ご注意

他のSCSI機器とSCSI IDが重複していないことを確認してください。

SCSI ID	ピン3	ピン2	ピン1	ピン0
0	×	×	×	×
1	×	×	×	○
2	×	×	○	×
3	×	×	○	○
4*1	×	○	×	×
5	×	○	×	○
6	×	○	○	×
7*2	×	○	○	○
8	○	×	×	×
9	○	×	×	○
10	○	×	○	×
11	○	×	○	○
12	○	○	×	×
13	○	○	×	○
14	○	○	○	×
15	○	○	○	○

○ = **ストラップあり**

× = **ストラップなし**

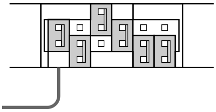
*1 **出荷時の設定。**

*2 **SCSI IDをID7に設定しないでください。**

パリティ機能の設定

パリティ機能の設定を設定します。設定は背面にあるジャンパピン一番左側のピンを使います。

ストラップありにすると、パリティ機能は「有効」になります（工場出荷時の設定）。ストラップなしにするとパリティ機能は「無効」になります。



ご注意

出荷時設定のままでお使いください。

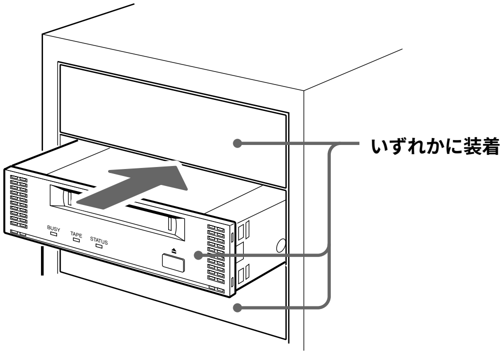
サーバ等への設置方法

⚠注意

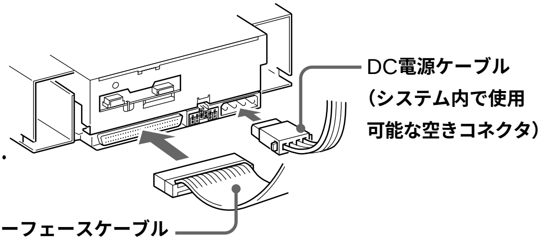
サーバや周辺機器の接続/取り外しをする場合には、必ず大もとの電源コードをACコンセントから抜いてください。
電源ケーブルがACコンセントに接続されたまま、接続/取り外しをすると、感電の恐れがあります。

サーバ機器等への設置方法例を以下に示します。

1　下の図の位置にSDT-11000内蔵DATを取り付けます。



2　下の図のようにインターフェースケーブルを接続してください。



ご注意

- 設置の際には、SCSI ID等の各設定の確認をお願いします。
- 本装置の出荷時のSCSI IDは4に設定されております。他のSCSI IDと重複しないように設定してください。

サーバ側の設定方法

テープデバイスドライバのインストール

Windows NT 4.0のNTバックアップを使用する方のみインストールしてください。

サーバにテープデバイスドライバをインストールします。ドライバのインストールには、添付のフロッピーディスクを使用します。あらかじめ用意しておいてください。

1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」をポイントして「コントロールパネル」をクリックする。
「コントロールパネル」ダイアログボックスが表示されます。

2 「コントロールパネル」の「テープデバイス」をクリックする。
「テープデバイス」ダイアログボックスが表示されます。

3 「ドライバ」タブをクリックする。

4 「追加」ボタンをクリックする。
「ドライバのインストール」ダイアログボックスが表示されます。

5 「ディスク使用」ボタンをクリックする。

6 添付のフロッピーディスク「Windows NT Ver.4.0 Driver for SDT-11000」をフロッピーディスクドライブにセットする。

7 「配布ファイルのコピー元」ボックスにフロッピーディスクをセットしたドライブ名を入力する。

8 「OK」ボタンをクリックする。
ドライバのコピーが始まります。

9 インストール後、「テープデバイス」ダイアログボックスの「ドライバ」シートに「NT 4.0 Sony drive」と表示されていることを確認する。

10 「OK」ボタンをクリックする。

11 「Windows NTセットアップ」を終了し、システムを再起動する。

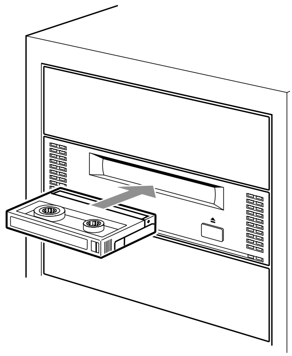
ご注意

NTバックアップを使用する場合は、他のバックアップアプリケーションをインストールしないで下さい。
インストールした場合は、アンインストールしてください。また、NTバックアップ以外のバックアップアプリケーションを使用する場合は、「NT 4.0 Sony SDT-11000 4mm DAT drive」を削除してください。

SDT-11000の使用方法

■ 4mmデータカートリッジの挿入

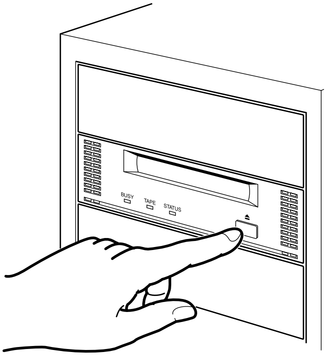
1 下図のように4mmデータカートリッジを矢印の方向に挿入します。
ある程度挿入すると4mmデータカートリッジが自動的に引き込まれます。



■ 4mmデータカートリッジを取り出すには

EJECTボタンを押します。

4mmデータカートリッジは自動的に排出されます。



ご注意

- **4mmデータカートリッジが排出されるまで、最長約20秒かかります。（テープの巻戻し時間は含みません。）**
- **カートリッジを入れたままでの移動はやめてください。**
  - **→ 移動する場合は、必ずカートリッジを本装置から取り出してください。衝撃が加わったとき、装置やカートリッジを傷める場合があります。**
- **電源を切るときは、カートリッジを取り出してください。**
  - **→ カートリッジを入れたままで電源を入れると、カートリッジの寿命が短くなったりバックアップに失敗する場合があります。**
- **カートリッジが挿入口から飛び出している状態で長期間放置しないでください。**
  - **→ カートリッジの寿命が短くなったり、本装置の故障の原因となることがあります。**
- **BUSYインジケータが点滅中はEJECTボタンを押さないでください。**
  - **→ BUSYインジケータが点滅しているときに4mmデータカートリッジを取り出すと、テープ上に記録されているデータが破壊される恐れがあります。**
- **EJECTボタンを押してもカートリッジが排出されない場合には、EJECTボタンを10秒以上押し続けることで強制的に排出させることができます。ただし、強制排出はテープを傷つける可能性もありますので、あくまでも緊急処置とお考えいただき、まずは電源OFF/ONによる再起動を行ってください。**

清掃

■ ヘッドの清掃

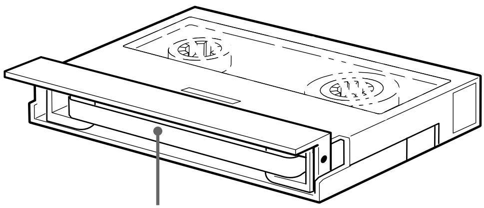
クリーニングは、テープ走行によって生じるゴミや使用環境のほこりによる磁気ヘッド部分への汚れを取り除く大切なものです。磁気ヘッド部分が汚れたまま書き込み/読み取り等、行いますと正常に書き込み/読み取りができなくなる、データカートリッジの寿命が短くなる、テープ表面にキズが付き使用できなくなる、などの障害が発生します。

1　添付のクリーニングカートリッジまたは、EF-3237C/EF-3237CNを本装置に挿入します。
　クリーニングが自動的に行われ、約30秒後にクリーニングカートリッジが排出されます。

2　クリーニングカートリッジを取り出します。
　これでクリーニングが完了です。通常どおりでご使用ください。

ご注意

- クリーニングカートリッジは、EF-3237Cの場合は約30回、添付品またはEF-3237CNの場合は約50回使用できます。クリーニング終了後に、STATUS LEDが点滅したときは、クリーニングカートリッジが寿命です。（LED表示は9ページ各部の名称 4 STATUSインジケータを参照してください。）
- 使い切ったクリーニングカートリッジを挿入した場合は自動で排出されません。EJECTボタンを押して取り出してください。
- クリーニングカートリッジのテープ面を手で触れたり、テープを巻戻して再使用しないでください。



■ ヘッドの清掃周期

クリーニングの周期は使用環境によってもことなりますが、以下を参考にしてください。

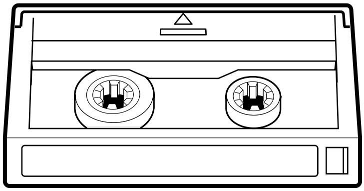
使用頻度	クリーニング周期
1日1巻以下を使用	1週間に1回
1日2～3巻を毎日使用	1週間に2回
1日4巻を毎日使用	毎日

ご注意

- クリーニングはなるべく書き込み/読み取り等、本装置を使用する前に行ってください。
- 新しいデータカートリッジに交換する前にはクリーニングを行ってください。
- 本装置を使用していない場合でも1ヶ月に1回はクリーニングを行ってください。

4mmデータカートリッジ

4mmデータカートリッジの構造



仕様・保管・運搬条件

■ 使用条件

温度	10～35 ℃
湿度	20～80 % ただし、湿球の最高温度は26℃とします。
放置時間	使用および保管環境条件以外の環境に4mmデータカートリッジがさらされていた場合には、使用および保管環境条件以外の環境にさらされていた時間より長く（最大8時間）使用環境になじませてから使用してください。温度勾配は10℃/時間とします。

■ 保管条件

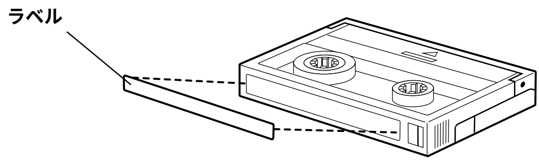
温度	5～35 ℃
湿度	20～80 % ただし、湿球の最高温度は26℃とします。
保管状態	4mmデータカートリッジは保護ケースに入れてふたをして保管してください。 置き方は水平、垂直どちらでもかまいません。

■ 運搬条件

温度	－30 ℃～35 ℃
湿度	20～80％ ただし、湿球の最高温度は26℃します。
温度勾配	10 ℃/時間
運搬状態	4mmデータカートリッジを保護ケースに収納し、ポリ袋に入れて密閉してください。 輸送の場合には、さらにダンボール箱に入れて4mmデータカートリッジに力が加わらないように包装してください。

ラベル

■ ラベル貼付位置



■ ラベルへの記入上の注意事項

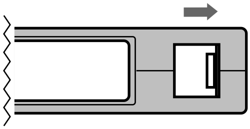
- 4mmデータカートリッジの内容を表示するために用いるラベルは簡単に取り換えることが可能で、取り外したあとに粘着物が残らないようなものを使用してください。
- 内容の表示を変更するときは、消しゴムで消さず、必ずラベルを貼り換えてください（INDEXラベルは、4mm データカートリッジに添付されています)。
- ラベルを貼るときは前項で指定された位置に確実に貼り、さらに取り換える場合は、古いラベルを取り除いてから新しいラベルを貼ってください。
- 指定のINDEXラベル以外のものを使用する場合は、大きさが合ったものを使用してください。

・添付のINDEXラベルには、使用開始年月日が記入できるようになっていますので必ず記入してください。4mmデータカートリッジの寿命をチェックする目安となります。

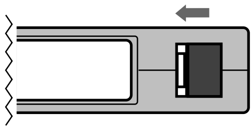
ライトプロテクト

ライトプロテクトプラグを右下の図のように設定するとテープの内容が保護されます。

一度書き込んだデータを消去したくないときには、このプラグを右下の図のように設定してください。またライトプロテクトプラグを左下の図のように設定するとテープに書き込み可能となります。



書き込み可



書き込み不可

取り扱い上の注意事項

■ 使用上の注意事項

使用する前

・使用する4mmデータカートリッジが、外的損傷を受けていたり、または変形したり曲がっているときは、使用しないでください。

・装置の使用温湿度条件外で保管されていた4mmデータカートリッジを使用する場合は、使用温湿度条件外にあった時間より長く(最大8時間)、使用環境に持ち込んでから使用してください。保管場所と使用場所の温度差が大きい場合は、一度に持ち込むのではなく温度変化が1時間に10℃程度になるようにして、4mmデータカートリッジを使用場所の温度になじませてください。

装置への装着時間

「4mmデータカートリッジの挿入」の項の説明に従って4mmデータカートリッジを装着してください。4mmデータカートリッジを取り出したあとの保護ケースは、しっかりと閉じチリやホコリの少ない場所で保管してください。

使用後

使用済みの4mmデータカートリッジは必ず保護ケースに入れてチリやホコリの少ない場所で保管してください。置き方は水平、垂直を問いません。

■ 一般的注意事項

- テープに手を触れないでください。また、テープカバーを開閉しないでください。
- 磁気を発生するものを近づけないでください。
- 直射日光や暖房器具の近くには置かないでください。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 飲食や喫煙をしながらの取り扱いは避けてください。また、シンナーやアルコールなどを付着させないように注意してください。
- 使用後は必ずケースに入れて保管してください。
- 装置への挿入は、ていねいに行ってください。
- 4mm データカートリッジ磁気テープは、ゴミやホコリを嫌います。

使用禁止基準

以下の項目に該当する場合は、新しい4mmデータカートリッジに取り替える必要があります。

- 落下させるなど強い衝撃を与え4mmデータカートリッジが損傷を受けた場合。
- 清涼飲料、コーヒー、紅茶など液体、溶剤や金属粉、たばこの灰などで記録面が汚れている場合。

備考

この状態で4mmデータカートリッジを装置に挿入するとヘッドや装置を損傷したり、汚したりすることになり、装置の故障の原因となります。また、ヘッドの汚れや傷に気付かず新しい4mmデータカートリッジを装置に挿入すると、4mmデータカートリッジを汚したり、傷つけたりして被害を広げることになります。

寿命

データカートリッジは書き込み/読み取り等を行う度に消耗しています。消耗したカートリッジを使用し続けることはエラーの原因となるだけでなく、書き込んだデータの破損にいたる場合がありますので、長い間使用しているテープは交換してください。

データカートリッジの寿命は使用環境によってもことなりますが、以下を参考にしてください。

使用頻度	寿命の目安
1週間に1回	1年
1週間に3回	半年
毎日	3ヶ月

- 使用環境(温度・湿度・塵埃等)によって、目安より短くなることがあります。

4mmデータカートリッジの寿命管理として、下記の手順を実施いただくことをお勧めします。

- 新しい4mmデータカートリッジに管理番号を割り当て、その番号を4mmデータカートリッジのラベルに記入しておきます。
- 4mmデータカートリッジ管理台帳を作り、使用日を記録し、4mmデータカートリッジの使用年数と使用回数を見積ります。
- 定期的に、4mm データカートリッジの管理台帳と標識ラベルを調べ、長く使用されていたり、書き込み、読み取りエラーが発生するなど信頼性が低い4mm データカートリッジを廃棄します。

またテープ磁性層は、化学物質で構成されており時間経過と共に劣化します。

この劣化によるテープ寿命は、テープ保管の環境（湿度、温度）により大きく異なりますが、カートリッジを使用していない場合でも、購入してから約3年を目安に交換してください。

重要なデータのセーブについて

重要なデータまたはプログラムなどをセーブする場合には、万一の場合に備えて、正副2巻にセーブすることをお勧めします。

また、セーブする際にはバックアップソフトのベリファイ機能を利用し、セーブしたデータの確認も実施していただくこともお勧めします。
ベリファイ機能の利用方法についてはは各バックアップソフトの取扱説明書を参照してください。

こうしておけば一方のテープがチリやホコリによるリードエラーを起こしても、もう一方のテープから復旧でき、大切なデータやプログラムの消失を防げます。

データの3世代管理について

ディスク上のデータをセーブする場合は、セーブしたデータの3世代管理をお勧めします。

3世代管理はテープ3巻（A、B、C）使用して、ディスク上のデータを1日目はテープAにセーブし、2日目はテープBに、3日目はテープCにセーブするというように、A→B→Cの順番でディスク上のデータをセーブしていくものです。

これにより、例えば一巻のテープCがリードエラーを起こした場合にはテープBのデータを使用してデータを復旧でき、またテープBがリードエラーを起こした場合でもテープAのデータを使用して大切なデータを復旧することができます。

付録

主な仕様

■ 性能

記憶容量	20 Gバイト（圧縮時：40 Gバイト） （EF-2422使用時）

＊圧縮時の値は圧縮効率が2倍である場合の値です。圧縮効率はデータパターンにより変化します。

ビットエラーコード	10^{-15} 以下
データ転送速度（TAPE）	2.36 Mバイト/秒（非圧縮時）
バーストデータ転送速度（SCSI）	14 Mバイト/秒（最大、非同期） 40 Mバイト/秒（最大、同期）
イニシャライズ時間	1 秒未満
ロード時間	24 秒未満
アンロード時間	20 秒未満
巻き戻し時間	80 秒未満（150 mテープ使用時）

■ 環境条件

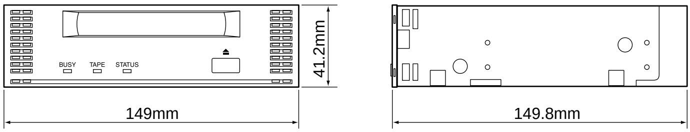
	周囲温度	相対湿度	最大湿球温度
動作時	10 ℃〜35 ℃	20 %〜80 %	26 ℃結露なきこと
運搬時	－30 ℃〜40 ℃	10 %〜90 %	26 ℃結露なきこと
保管時	－5 ℃〜40 ℃	10 %〜90 %	26 ℃結露なきこと

■ DC電源仕様

電圧	5 V ±5 %	12 V ± 10 %
電流（Max.）	2.0 A	1.6 A

■ 寸法・重さ

幅	149 mm
高さ	41.2 mm
奥行	149.8 mm
重量	0.91 kg以下



LED表示一覧

DAT装置					対処方法
テープ状態	装置状態	LED	点灯状態	意味	
正常	正常	BUSY	点灯または消灯	・BUSYが点灯しているときはSCSIがアクティブです。 ・データカートリッジが挿入されていません。	
		TAPE	消灯		
		STATUS	消灯		
正常	正常	BUSY	等間隔に点滅	・データカートリッジが走行中で、読み書き/書き込み動作を行っています。	(注) この点灯状態の時に電源を落とさないようにご注意願います。
		TAPE	点灯		
		STATUS	***		
正常	正常	BUSY	等間隔に点滅	・データカートリッジの出し入れを行っています。	(注) この点灯状態の時に電源を落とさないようにご注意願います。
		TAPE	等間隔に点滅		
		STATUS	***		
正常	正常	BUSY	点灯、消灯、または等間隔に点滅	・データカートリッジが挿入されています。	(注) この点灯状態の時に電源を落とさないようにご注意願います。
		TAPE	点灯		
		STATUS	***		
正常	正常	BUSY	***	・挿入されたデータカートリッジが書き込み禁止状態になっています。	(注) この点灯状態の時に電源を落とさないようにご注意願います。
		TAPE	点灯		
		STATUS	点灯		

DAT装置					対処方法
テープ状態	装置状態	LED	点灯状態	意味	
正常	正常	BUSY	消灯	・クリーニングカートリッジを使いきってしまった。	・新しいクリーニングカートリッジと交換してください。また、交換された古いクリーニングカートリッジは再使用しないでください。
		TAPE	点灯		
		STATUS	等間隔に点滅		
正常	正常	BUSY	***	・クリーニング要求を意味します。	・クリーニングを実施してください。 ・クリーニングを実施後、すぐに同じエラーが発生した場合には、新しいデータカートリッジを使用してください。
		TAPE	***		
		STATUS	長い点灯と短い消灯の繰り返し		
正常または異常	正常	BUSY	***	・データカートリッジが挿入されており、定義されたメディアウォーニングしきい値を超えたエラーが発生しています。 「警告のみ」 （データカートリッジが劣化しています。）	・純正のクリーニングカートリッジを使用してヘッドのクリーニングを実施してください。クリーニング後再度データカートリッジを挿入し同じエラーが発生した場合には、新しいデータカートリッジを使用してください。（または、クリーニング後新しいデータカートリッジを使用してください。）
		TAPE	長い点灯と短い消灯の繰り返し		
		STATUS	***		
正常または異常	正常または異常	BUSY	短い点灯と長い消灯の繰り返し	・リセット待機状態	・データカートリッジは、イジェクトボタンを押しても排出しません。 ・本装置がハード的に故障している可能性があります。 ・電源のOFF/ONによる再起動を行ってください。再起動後も同じエラーが発生した場合は故障です。本装置の交換が必要です。
		TAPE	***		
		STATUS	***		

DAT装置					対処方法
テープ状態	装置状態	LED	点灯状態	意味	
正常または異常	正常または異常	BUSY	***	・イジェクト待機状態	・データカートリッジをイジェクトしてください。新しいデータカートリッジを使用してください。データカートリッジを変えてもこのエラーが発生した場合は故障です。本装置の交換が必要です。
		TAPE	短い点灯と長い消灯の繰り返し		
		STATUS	***		
異常	異常	BUSY	***	・装置が異常です。	・本装置がハード的に故障しています。 ・本装置の交換が必要です。また、このとき使用していたデータカートリッジは、ハード故障によりデータが破壊している可能性があるため、別のデータカートリッジを使用してください。 なお、このエラーが発生した本装置及びデータカートリッジは再使用しないでください。
		TAPE	***		
		STATUS	短い点灯（2回）と長い消灯の繰り返し		

*** は本装置の状態に応じてLEDの点灯のしかたが変わりますが、意味や対処方法に影響しません。

運用状況お客様記入シート

本装置を保守・管理する際に必要な情報を記録しておくメモ欄です。

項目	記入欄
サーバモデル名	
オペレーティングシステム（OS）（名称、バージョン、サービスパック / パッチの適用状況）	
バックアップアプリケーション（名称、バージョン、サービスパック / パッチの適用状況）	
SCSI バス構成（SCSI ID/ 同一バス上のデバイス）装置設置環境	
装置設置環境（温度、湿度、ホコリの状況など）	
カートリッジ種類（メーカー名、EF 型番）	
クリーニングカートリッジ種類（メーカー名、EF 型番）	
クリーニングカートリッジ使用状況（クリーニング周期、使用回数や使用開始月の管理方法など）	
カートリッジ使用状況（使用回数や使用開始月の管理方法など）	
カートリッジの管理状況	

N8151-26
内蔵DAT取扱説明書

2001年5月　初版

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番1号
TEL(03)3454-1111（大代表）

NEC

Printed in Japan

このマニュアルは再生紙を使用しています。

＊4-648-099-03＊(1)